

大垣市文教協会 60 周年事業

子どもが主人公の

「未来のすてきな大垣」づくり事業

50 周年事業

「語り継ぎたい ふるさと大垣」を発刊



60周年事業に込めた願い

- ・子どもが主人公となって、ふるさとを学び、ふるさが好きになるようにしていきたい
- ・ふるさとについて考え、意見を発信することができるよう体験の場を創っていきたい
- ・子ども達がまちづくりに参画できるようにしていきたい



2つの事業を実施

おおがきこどものまち

スマスタウンへの助成事業

- ・子どもが主体となって、まちを作り上げるプログラム
 - ・基本ルールは「大人は口出し禁止」。子ども達は、自分たちが住むまちを参考に自由にまちを創り上げていく
- (令和4年、5年度実施)

大垣市×SDGsお化け事業

- ・子ども達が目線から見た地域の課題を見つける
- ・見つけた課題を SDGs と結び付けて、SDGs お化けとして表現する
- ・見つけた SDGs お化けを、子ども達で、どのようにしていくとよいか話し合う

年月日	活動内容
令和5年12月	・文教協会会長、市長より、文教協会60周年事業（子どもが主人公の「未来のすてきな大垣」づくり事業）について記者発表。
○令和5年8月18日 大垣市「こどもまんなか応援サポーター宣言」 こどもまんなか応援サポーター宣言 ずっとずっとたくましく生きるこどもをへくむための環境づくり ・ひまわり学園や南保育園等の改築・整備 ・育休返園制度の継続的な見直し検討 ・特別な配慮を要するこどもへの対応の充実 ・就園環境整備のための認定こども園化の検討 子育てで日本一を実感できる仕組みやマインドづくり ・こども基本法を踏まえた子育て支援条例の見直し ・こどもの居場所づくりの推進 ・こども家庭センターの整備 ・子育て支援拠点の再整備 こどもと一緒に取り組むまちづくり ・こども関連施策の検討に際しての意向把握（子育て支援計画の策定、こどもの居場所づくりの検討） ・こどもの意向把握のルール化（改正条例に明文化）  大垣市「こどもまんなか応援サポーター宣言」趣旨とも合致	
	
令和5年12月～ 令和6年1月	・市内小学校3年生～中学校3年生を対象に、「大垣市×（かける）SDGs お化けを探せ」の作品募集を実施
子どもが主人公の「未来のすてきな大垣」づくり事業 大垣市の未来について、考え、行動してみませんか？ 地域の未来は自分たちでつくりあげていくものです 子どもが主人公となって、大垣市の未来をよりすてきなものにするため、このミッションに参加してみませんか？ かける 大垣市×SDGs お化けを探せ 誰ひとり取り残されなく、暮らし続けることができるように、世界のさまざまな課題の解決のために向けてつくられたSDGs。あなたたちは、SDGsを身近に感じていますか？世界だけでなく、私達が暮らす大垣にも解決すべき課題があるはずです。その課題が「SDGs お化け」となって私達のちかひにいます。そのお化けは私達にしくだいを示しているのです。 「私たちお化けをほっておくと、悲しむ人がたくさん出てしまうよ。」 「未来をすてきなものにしたいの？」 大垣の未来を私達の手で素敵いっぱいにするミッションの始まりです！ まずは、お化け探しに出かけましょう。   大垣市文教協会×大垣市 子どもが主人公の「未来のすてきな大垣」づくり事業 ミッション1 大垣市×SDGs お化け探し ①子ども目線で調査！ 子ども目線だからこそ見えるお化け（課題）が大切 ②SDGsは私たちの身近に！ 見つけた課題をSDGsに結び付けよう ③お化け（課題）の特徴を調査！ 特徴が見えると、お化け退治への鍵になる ④この①～③のミッションを報告書（応募用紙）にまとめよう！ MISSION2 「大垣市×SDGs お化けサミット」開催予定 MISSION3 「大垣市×SDGs お化け退治」開催予定 「SDGsお化け」とは…SDGsの17の課題を視点に自分の地域を見つめ課題を見つけ、その課題をお化けとして表現したもの。 ？どうしてお化けなのか？ お化け（特定の知らないもの）として表現することで、誰にとっても分かりやすい活動となるようにしていきたいと考えています。また、怖い存在であるお化けにすることで、「何もしないのではなく、解決しなければならぬ」課題であると考えて欲しいという願いが込められています。 【大垣市長が発見！デシベルベル】  【文教協会長が発見！ミズーラ】 	
令和6年2月	・最終審査を実施し、6体の受賞作品が決定

応募総数 1111 作品